

### 天文現象

- 3/3 上弦
- 3/10 満月
- 3/16 下弦
- 3/19～21

火星と木星が並ぶ(明け方、東の空)

- 3/20 春分
- 3/24 新月

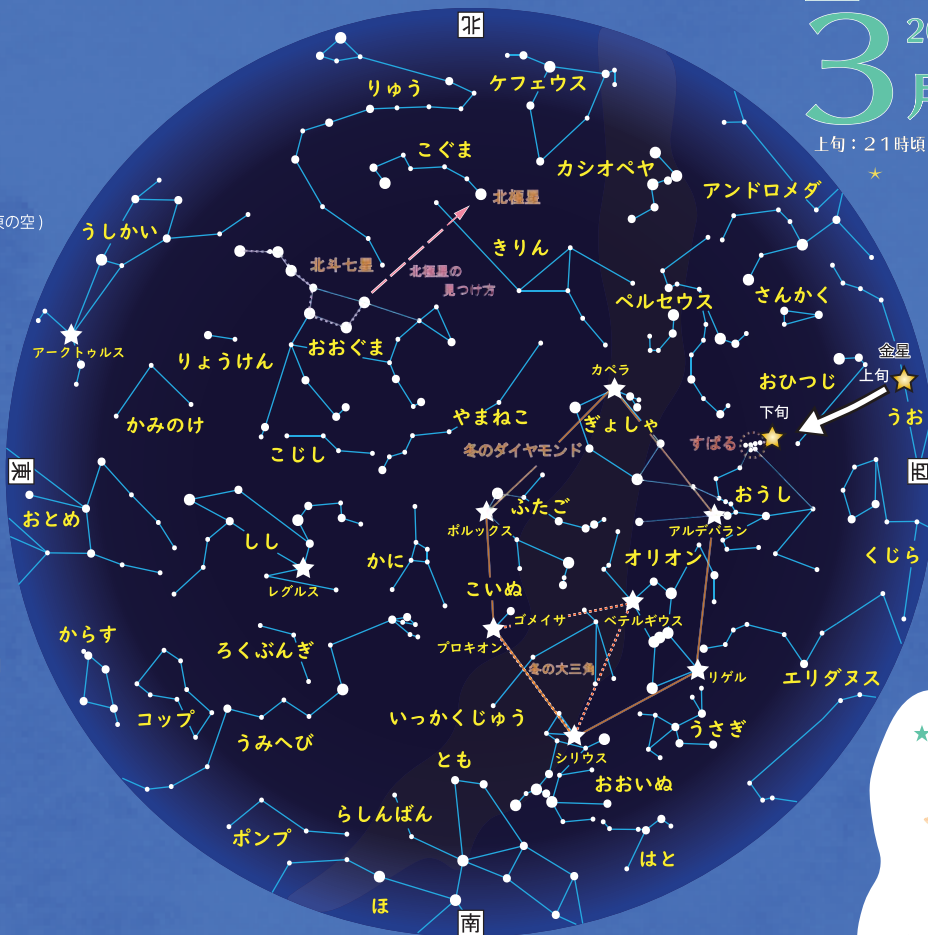
水星が西方最大離角※  
(明け方、東の空)

- 3/25 金星が東方最大離角※  
(夕方、西の空)

- 3/28 月と金星が並ぶ  
(夕方、西の空)

- 3/31 火星と土星が並ぶ  
(明け方、東の空)

※地球から見て内惑星(水星、金星)が太陽の最も東側にあるときを東方最大離角、最も西側にあるときを西方最大離角といいます。最大離角の前後数日間は、内惑星が見つけやすくなります。



- ★ 惑星
- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

### ★星座盤の使い方



星座盤は空にかざして方位を合わせてみて！  
空と重ねると…東西の向きが正しくなるよ。

## ワンポイント星座



### こいぬ座

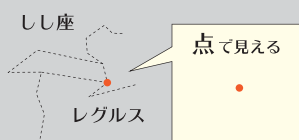
こいぬ座は白っぽく輝く明るい1等星「プロキオン」が目印。もう1つ目立って見えるのは3等星の「ゴメイサ」です。「ゴメイサ」には「涙ぐんだもの」という意味があり、亡くなった主人を待ち続けるこいぬの涙の星とされています。

## 今月のポイント

### 惑星を見つけるポイント

- ・周りの星と比べて明るく見える星
- ・またたかないように見える星

望遠鏡でのぞいてみると…



惑星は模様や満ち欠けの様子がわかります。

何百光年も先にある恒星と異なり、惑星は地球から比較的近い場所にあります。恒星・惑星はどちらも一見すると小さな「点」で輝くように見えますが、惑星は見える部分がわずかに広く「面」として輝くため、明るさが安定してまたたかないように見えるのです。望遠鏡で見てみるとさらに違いがよくわかります。

## コラム

### 明け方の空で火星、木星、土星が集合

今年3月は、明け方東の空に見どころがあります。火星、木星、土星という3つの惑星が大変近くに集合する珍しい様子を見ることができます。さらに3/18～19頃には新月前の細い月が加わり、空がよりにぎやかに見えるでしょう。惑星は、肉眼でも明るさの違いや色の違いがわかりやすい天体です。3つの惑星の中で、1番明るく見えるのが木星、赤っぽく見えるのが火星、残る1つが土星です。日の出前の4時～5時頃、少し早起きをして、惑星が彩る朝焼けの風景を楽しんではいかがでしょうか。

